

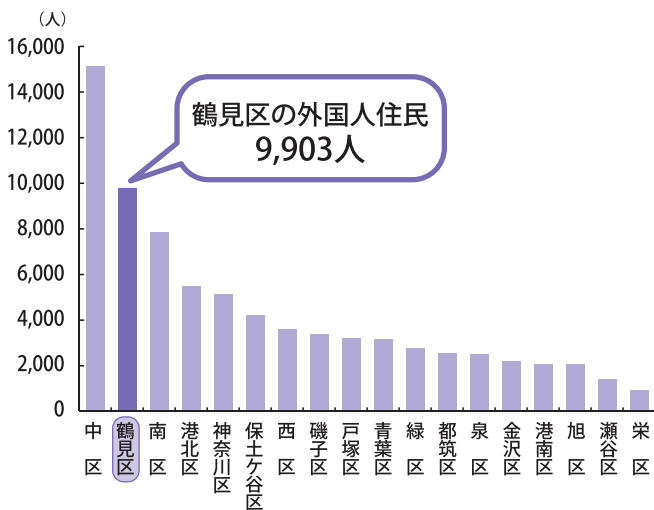
外国人住民

鶴見区の外国人住民

平成27年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は9,903人です。これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。

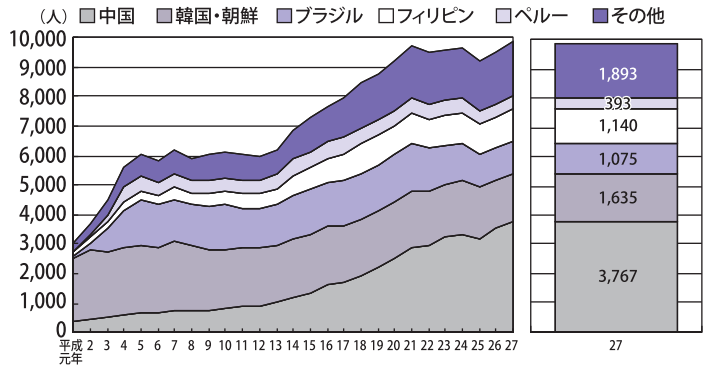
国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、フィリピンの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジルの構成比が大きいことが分かります。

◆18区別外国人住民数◆

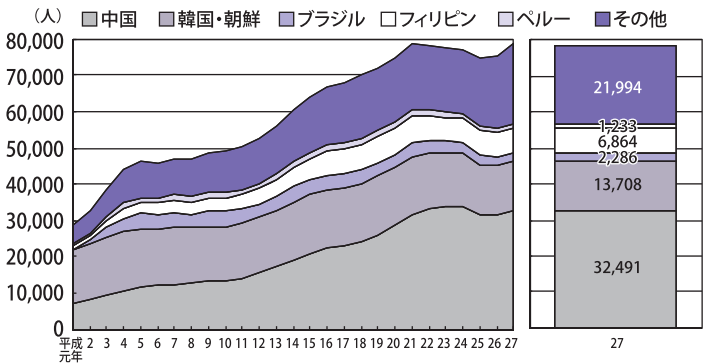


◆国籍別外国人住民数の推移◆

◀鶴見区▶



◀横浜市▶



資料 「横浜市統計書」各年3月末現在



鶴見区は、外国人児童数(※)が288人で、18区中1番多いよ!

※ 市立小学校に通う外国人児童の数
資料:横浜市教育委員会「市立学校現況」
(平成27年5月1日現在)

※注意※

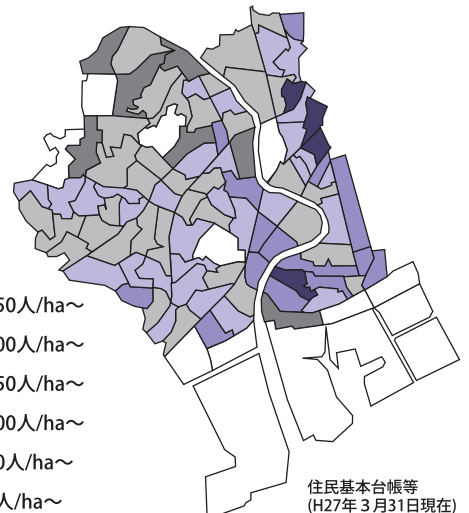
平成24年7月9日に「外国人登録法」が廃止になり、改正住民基本台帳法の施行により、外国人住民も住民基本台帳に記載されるようになりました。



地図でみる鶴見 ~人口密度~



※大黒ふ頭、扇島は省略しています。



住民基本台帳等
(H27年3月31日現在)

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一・三丁目、本町通、市場上町などです。

また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。



- 250人/ha~
- 200人/ha~
- 150人/ha~
- 100人/ha~
- 50人/ha~
- 0人/ha~